

平成 20 年度社会的養護ニーズ把握調査概況

1. 調査の目的

都道府県における社会的養護体制の計画的な整備をすすめるため、必要な社会的養護の提供量を算定する際の指標として、入所措置を行う児童相談所における相談状況からみた社会的養護ニーズを把握することを目的とする。

2. 調査の対象及び客体

全国の児童相談所及び児童相談所が平成 19 年度に入所措置した児童等を対象とし、その全員を客体とした。

3. 調査の期日

平成 20 年 10 月 8 日～平成 20 年 11 月 21 日

4. 調査の方法

都道府県・指定都市・児童相談所設置の民生主管部（局）が児童相談所の協力を得て実施。

5. 結果（目次）

①児童相談所票

表 1 新規施設入所件数、都道府県・児童相談所設置市別

表 2 新規里親委託件数、都道府県・児童相談所設置市別

表 3 長期一時保護件数、都道府県・児童相談所設置市別

表 4 施設入所等検討施設種別件数（一時保護）、都道府県・児童相談所設置市別

表 5 年度内施設入所等件数（一時保護）、都道府県・児童相談所設置市別

表 6 施設入所等検討施設種別件数（在宅指導）、都道府県・児童相談所設置市別

②児童個票

表 1 新規施設入所件数、都道府県・児童相談所設置市別

表 2 新規施設入所件数、一時保護の有無別

表 3 新規施設入所件数、施設種別

表 4-1 新規施設入所件数、他施設種別への入所の検討の有無別

表 4-2 新規施設入所件数、他施設種別への入所の検討を行ったが選択をしなかった理由別

表 4-3 事例の要件

表 5 新規施設入所件数、措置変更の有無別

表 6 新規施設入所件数、措置変更の検討の有無別

表 4 別表 入所検討した他の施設種別と、実際に入所した施設種別のクロス

表 5 別表 措置変更先の施設種別と、当初入所した施設種別のクロス

表 6 別表 措置変更を検討している施設種別と、現在入所中の施設種別のクロス

表1 新規施設入所件数, 都道府県・児童相談所設置市別
 ～平成19年度新たに施設入所を行った件数
 ※障害児施設への入所措置も含む

| | 新規児童福祉施設入所件数 |
|----------|--------------|
| 全国 | 11,156 |
| 都道府県 | 8,861 |
| 北海道 | 328 |
| 青森県 | 107 |
| 岩手県 | 99 |
| 宮城県 | 65 |
| 秋田県 | 83 |
| 山形県 | 52 |
| 福島県 | 114 |
| 茨城県 | 274 |
| 栃木県 | 121 |
| 群馬県 | 186 |
| 埼玉県 | 442 |
| 千葉県 | 278 |
| 東京都 | 1,224 |
| 神奈川県 | 198 |
| 新潟県 | 46 |
| 富山県 | 56 |
| 石川県 | 48 |
| 福井県 | 50 |
| 山梨県 | 81 |
| 長野県 | 224 |
| 岐阜県 | 174 |
| 静岡県 | 169 |
| 愛知県 | 375 |
| 三重県 | 197 |
| 滋賀県 | 98 |
| 京都府 | 110 |
| 大阪府 | 705 |
| 兵庫県 | 346 |
| 奈良県 | 117 |
| 和歌山県 | 113 |
| 鳥取県 | 76 |
| 島根県 | 79 |
| 岡山県 | 243 |
| 広島県 | 168 |
| 山口県 | 187 |
| 徳島県 | 90 |
| 香川県 | 80 |
| 愛媛県 | 144 |
| 高知県 | 124 |
| 福岡県 | 272 |
| 佐賀県 | 80 |
| 長崎県 | 122 |
| 熊本県 | 177 |
| 大分県 | 102 |
| 宮崎県 | 133 |
| 鹿児島県 | 165 |
| 沖縄県 | 139 |
| 指定都市 | 2,212 |
| 札幌市 | 147 |
| 仙台市 | 39 |
| さいたま市 | 96 |
| 千葉市 | 48 |
| 横浜市 | 224 |
| 川崎市 | 74 |
| 新潟市 | 19 |
| 静岡市 | 42 |
| 浜松市 | 59 |
| 名古屋市 | 243 |
| 京都市 | 136 |
| 大阪市 | 432 |
| 堺市 | 147 |
| 神戸市 | 124 |
| 広島市 | 107 |
| 北九州市 | 150 |
| 福岡市 | 125 |
| 児童相談所設置市 | 83 |
| 横須賀市 | 26 |
| 金沢市 | 57 |